

RS ウイルスに注意しましょう！

RS ウイルス感染症は例年冬に流行しており、夏は報告数が少ない状況が続いていましたが、近年7月頃より増加傾向がみられています。令和3年は、全国的に急増していることから引き続き注意が必要です。

RS ウイルス感染症とは

RS ウイルスに感染することによる呼吸器の感染症です。

【感染しやすい時期】通常、発症後3～8日（呼吸器症状のある時期）、乳児では3～4週

【潜伏期間】2～8日

【症状】発熱、咳、鼻水など

【合併症】中耳炎、肺炎、細気管支炎など

【治療】症状を和らげる対症療法が主になります



予防方法

- ①手洗いや咳エチケット（マスクの着用）などの実施
- ②流行時にかぜ症状がある乳児と年長児の接触をできるだけ避ける
- ③おもちゃや手すりなど子どもたちが触れる部分のこまめなアルコール消毒



高松市保健所 保健予防課 感染症係
高松市桜町1丁目10番27号
電話番号：087-839-2870